

グローバル中小型株式ファンド

運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2024年6月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル中小型株式ファンド」は、2024年6月17日に第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
当ファンドにおけるSDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率はマンスリーレポートに記載しています。下記URLをご覧ください。
<https://www.resona-am.co.jp/fund/120018/mokuromi.html>
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年10月6日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の中小型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル中小型株式ファンド	・RMグローバル中小型株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	グローバル中小型株式ファンド	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ： <https://www.resona-am.co.jp/>

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比率	式率	純資 産額
		税 分	込 配	み 金 騰 落			
(設定日)	円			円		%	百万円
2020年10月6日	10,000			—		—	1
1期(2021年6月17日)	13,752			0		37.5	45
2期(2022年6月17日)	9,528			0		△30.7	39
3期(2023年6月19日)	11,711			0		22.9	49
4期(2024年6月17日)	11,811			0		0.9	39

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比率	式率
		騰 落	率		
(期首) 2023年6月19日	円			%	%
	11,711			—	97.6
6月末	11,674			△0.3	97.5
7月末	11,762			0.4	98.1
8月末	11,108			△5.1	98.5
9月末	10,505			△10.3	97.6
10月末	9,203			△21.4	97.4
11月末	10,157			△13.3	97.2
12月末	11,303			△3.5	95.7
2024年1月末	11,460			△2.1	94.2
2月末	11,970			2.2	94.8
3月末	12,276			4.8	95.1
4月末	11,935			1.9	95.2
5月末	11,635			△0.6	97.8
(期末) 2024年6月17日	11,811			0.9	97.6

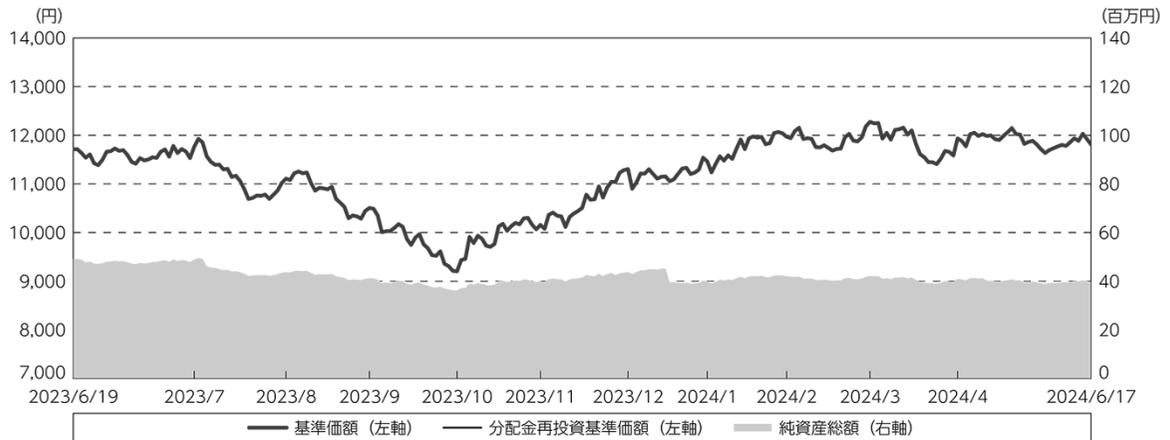
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2023年6月20日～2024年6月17日)

期中の基準価額等の推移



期首：11,711円

期末：11,811円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 0.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年6月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

グローバル株式市場は半導体関連銘柄を中心とする大型グロース株(成長株)が市場をけん引し大きく上昇したものの、中小型株式を主要投資対象とする当ファンドの基準価額は小幅な伸びにとどまりました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ打ち止めへの期待感が下支えとなった一方、中東情勢の緊迫化などを受けて相場は不安定化する局面もみられました。期末にかけては、米国を中心に景気軟着陸への期待が高まったほか、AI（人工知能）関連銘柄を中心とした好決算が支援材料となり、グローバル株式市場は上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対しては、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め策を継続する一方、日銀は金融緩和策を維持したことなどから、円安が進行しました。その後、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、再度円安が進行しました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）がインフレ抑制姿勢を維持するなか、円安が進行しました。

新興国地域において、中国では期を通して緩和的な金融政策が維持するなか、米ドル高円安の動きが続きました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は97.7%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■QPS研究所（日本）

九州に宇宙産業を根差すことを目指して設立され、SAR衛星（高精細小型レーダー衛星）を開発・製造・運用しています。SAR衛星は夜間や天候不良時でも観測が可能となり、自然災害発生時での確実な状況把握を通じた被害拡大の抑制や斜面や道路などの微細な変化検出による災害や事故の予防など、安全・安心な社会構築に貢献する企業として当ファンドでは、評価しています。2023年12月に東証に上場すると同時に宇宙関連企業としての期待が株式市場で高まり、株価は上昇しました。

■ エラストック（米国）

webサイトの検索エンジンを提供するソフトウェア企業で、ビジネス向けの利用で高いシェアを有しています。AIの活用により同社検索エンジンが進化していることや、検索と生成AIを組み合わせることで会話型AIサービス機能を低コストで提供できることに注目が集まっています。コロナ禍での特需の反動で業績の鈍化傾向が続いていましたが、業績の安定化が確認されたことで株価は上昇に転じました。

< マイナス要因 >

■ インシュレット（米国）

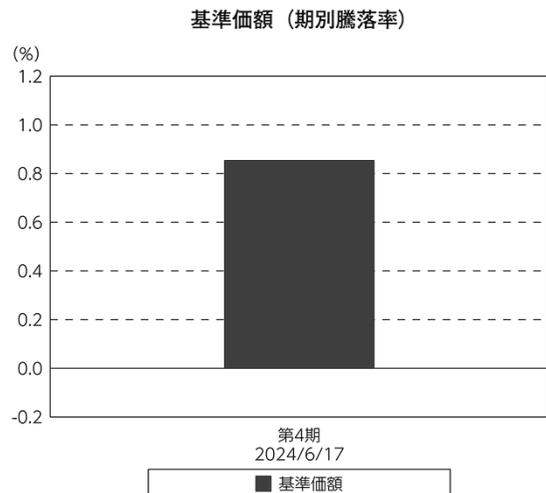
糖尿病患者向けの使い捨てのパッチ式インシュリン投与機器の開発・製造・販売をしています。糖尿病患者が当社製品を腕などに貼り付けることで、夜間も含め適切なタイミング・量でインシュリンが自動的に投入され、血糖値コントロールや利便性を改善し、QOL（生活の質）の向上につながるものと当ファンドでは、評価しています。画期的な肥満治療向け新薬の将来的な普及で糖尿病患者が減少するなど業績への悪影響が不安視されたことで株価は下落しましたが、足元業績は堅調であり、保有を継続しています。

■ アルナイラム・ファーマシューティカルズ（米国）

核酸医薬の一種であるRNA干渉治療薬の分野でのリーディングカンパニーです。体内で遺伝子から異常なタンパク質が合成されるプロセスを阻害することで様々な疾患の治療を目指しています。ドラッグデリバリーシステム（薬物を体内の特定部位に届ける技術）の確立で、将来的には生活習慣病の治療への貢献も期待されています。半導体関連銘柄に市場の人气が集中するなか、バイオ関連銘柄が物色圏外となったことから、株価は低調に推移しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第4期
	2023年6月20日～ 2024年6月17日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,810

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれる様々な有望市場・商品やその関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式市場は米国でのインフレ状況や景気の先行きに注目が集まるなか、米金融政策に対する思惑で上下に振られる展開が続いています。当ファンドでは中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うとともに、外部環境の変化、特にインフレによる足元業績への影響を勘案しつつ、安定したリターンを獲得できるよう銘柄の選択に努めてまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 6 月 20 日～2024年 6 月 17 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	185	1.641	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(90)	(0.804)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(90)	(0.804)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	14	0.128	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(14)	(0.128)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.024	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.024)	
(d) そ の 他 費 用	20	0.173	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(19)	(0.166)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	222	1.966	
期中の平均基準価額は、11,249円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

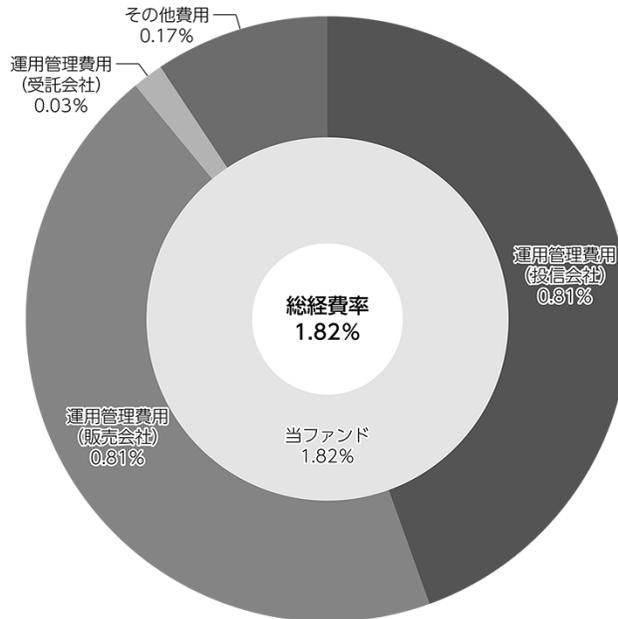
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月20日～2024年6月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千口 3,066	千円 4,584	千口 9,718	千円 14,907

○株式売買比率

(2023年6月20日～2024年6月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	728,748千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	530,697千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.37	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月20日～2024年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年6月20日～2024年6月17日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年6月20日～2024年6月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年6月17日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千口 31,003	千口 24,351	千円 39,609

○投資信託財産の構成

(2024年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千円 39,609	% 99.0
コール・ローン等、その他	393	1.0
投資信託財産総額	40,002	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバル中小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(467,780千円)の投資信託財産総額(574,553千円)に対する比率は81.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=157.53円、1ユーロ=168.64円、1英ポンド=199.87円、1デンマーククローネ=22.60円、1香港ドル=20.16円。

○特定資産の価格等の調査

(2023年6月20日~2024年6月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月17日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	40,002,935
コール・ローン等	391,554
RMグローバル中小型株式マザーファンド(評価額)	39,609,881
未収入金	1,500
(B) 負債	340,253
未払解約金	3,812
未払信託報酬	335,155
その他未払費用	1,286
(C) 純資産総額(A - B)	39,662,682
元本	33,581,988
次期繰越損益金	6,080,694
(D) 受益権総口数	33,581,988口
1万口当たり基準価額(C / D)	11,811円

(注) 当ファンドの期首元本額は42,000,308円、期中追加設定元本額は5,600,593円、期中一部解約元本額は14,018,913円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.1811円です。

○損益の状況 (2023年6月20日～2024年6月17日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 43
支払利息	△ 43
(B) 有価証券売買損益	1,315,656
売買益	1,829,135
売買損	△ 513,479
(C) 信託報酬等	△ 689,995
(D) 当期損益金(A + B + C)	625,618
(E) 前期繰越損益金	△1,700,529
(F) 追加信託差損益金	7,155,605
(配当等相当額)	(3,383,113)
(売買損益相当額)	(3,772,492)
(G) 計(D + E + F)	6,080,694
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	6,080,694
追加信託差損益金	7,155,605
(配当等相当額)	(3,384,326)
(売買損益相当額)	(3,771,279)
分配準備積立金	965,766
繰越損益金	△2,040,677

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(98,604円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,114,928円)および分配準備積立金(867,162円)より分配対象収益は6,080,694円(1万口当たり1,810円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

- ・「受益権の申込単位および価額」、「信託契約の一部解約」の各条文について、指定販売会社における投資者からの申込形態を考慮して誤解を招くことのない文言とするため、約款に所要の変更を行いました。(2024年1月17日)

RMグローバル中小型株式マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2024年6月17日）
（2023年6月20日～2024年6月17日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2020年4月23日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている中小型株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。</p> <p>②社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2020年4月23日	10,000		—	—	200
1期(2021年6月17日)	17,910		79.1	97.4	403
2期(2022年6月17日)	12,674		△29.2	97.2	384
3期(2023年6月19日)	15,844		25.0	97.8	572
4期(2024年6月17日)	16,266		2.7	97.7	573

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	
2023年6月19日	15,844		—	97.8
6月末	15,803		△ 0.3	97.7
7月末	15,946		0.6	98.2
8月末	15,093		△ 4.7	98.2
9月末	14,292		△ 9.8	97.8
10月末	12,536		△20.9	97.5
11月末	13,857		△12.5	97.3
12月末	15,443		△ 2.5	95.9
2024年1月末	15,683		△ 1.0	94.3
2月末	16,406		3.5	94.8
3月末	16,845		6.3	95.3
4月末	16,401		3.5	95.4
5月末	16,011		1.1	97.9
(期 末)				
2024年6月17日	16,266		2.7	97.7

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年6月20日～2024年6月17日)

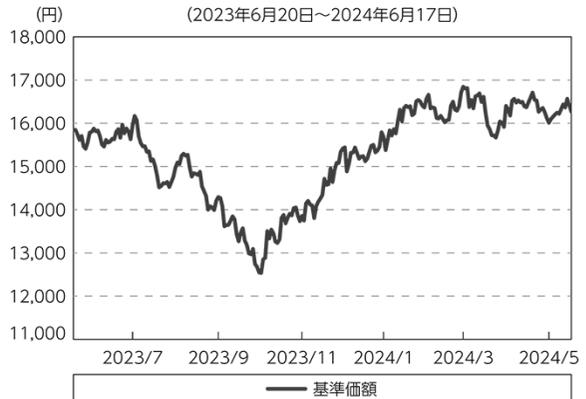
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

グローバル株式市場は半導体関連銘柄を中心とする大型グロース株（成長株）が市場をけん引し大きく上昇したものの、中小型株式を主要投資対象とする当ファンドの基準価額は小幅な伸びにとどまりました。

基準価額等の推移

(2023年6月20日～2024年6月17日)



投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ打ち止めへの期待感が下支えとなった一方、中東情勢の緊迫化などを受けて相場は不安定化する局面もみられました。期末にかけては、米国を中心に景気軟着陸への期待が高まったほか、AI（人工知能）関連銘柄を中心とした好決算が支援材料となり、グローバル株式市場は上昇しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対しては、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め策を継続する一方、日銀は金融緩和策を維持したことなどから、円安が進行しました。その後、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、再度円安が進行しました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）がインフレ抑制姿勢を維持するなか、円安が進行しました。

新興国地域において、中国では期を通して緩和的な金融政策が維持するなか、米ドル高円安の動きが続きました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は97.7%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ QPS研究所（日本）

九州に宇宙産業を根差すことを目指して設立され、SAR衛星（高精細小型レーダー衛星）を開発・製造・運用しています。SAR衛星は夜間や天候不良時でも観測が可能となり、自然災害発生時での確実な状況把握を通じた被害拡大の抑制や斜面や道路などの微細な変化検出による災害や事故の予防など、安全・安心な社会構築に貢献する企業として当ファンドでは、評価しています。2023年12月に東証に上場すると同時に宇宙関連企業としての期待が株式市場で高まり、株価は上昇しました。

■ エラステック（米国）

webサイトの検索エンジンを提供するソフトウェア企業で、ビジネス向けの利用で高いシェアを有しています。AIの活用により同社検索エンジンが進化していることや、検索と生成AIを組み合わせることで会話型AIサービス機能を低コストで提供できることに注目が集まっています。コロナ禍での特需の反動で業績の鈍化傾向が続いていましたが、業績の安定化が確認されたことで株価は上昇に転じました。

<マイナス要因>

■ インシュレット（米国）

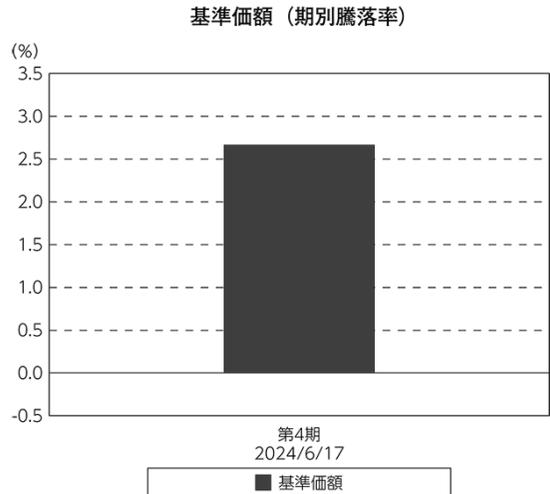
糖尿病患者向けの使い捨てのパッチ式インシュリン投与機器の開発・製造・販売をしています。糖尿病患者が当社製品を腕などに貼り付けることで、夜間も含め適切なタイミング・量でインシュリンが自動的に投入され、血糖値コントロールや利便性を改善し、QOL（生活の質）の向上につながるものと当ファンドでは、評価しています。画期的な肥満治療向け新薬の将来的な普及で糖尿病患者が減少するなど業績への悪影響が不安視されたことで株価は下落しましたが、足元業績は堅調であり、保有を継続しています。

■ アルナイラム・ファーマシューティカルズ（米国）

核酸医薬の一種であるRNA干渉治療薬の分野でのリーディングカンパニーです。体内で遺伝子から異常なタンパク質が合成されるプロセスを阻害することで様々な疾患の治療を目指しています。ドラッグデリバリーシステム（薬物を体内の特定部位に届ける技術）の確立で、将来的には生活習慣病の治療への貢献も期待されています。半導体関連銘柄に市場の人气が集中するなか、バイオ関連銘柄が物色圏外となったことから、株価は低調に推移しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれる様々な有望市場・商品やその関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式市場は米国でのインフレ状況や景気の先行きに注目が集まるなか、米金融政策に対する思惑で上下に振らされる展開が続いています。当ファンドでは中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うとともに、外部環境の変化、特にインフレによる足元業績への影響を勘案しつつ、安定したリターンを獲得できるよう銘柄の選択に努めてまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年6月20日～2024年6月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 20 (20)	% 0.130 (0.130)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.024 (0.024)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	25 (25) (0)	0.165 (0.164) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	49	0.319	
期中の平均基準価額は、15,359円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月20日～2024年6月17日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 88	千円 83,811	千株 73	千円 87,229
	アメリカ	百株 498	千米ドル 1,539	百株 311	千米ドル 1,447
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	3	66	14	90
	フランス	32	71	—	—
	オランダ	—	—	25	55
	ルクセンブルク	—	—	10	31
	イギリス	26	千英ポンド 55	—	千英ポンド —
国	ノルウェー	150	千ノルウェークロネ 382	150	千ノルウェークロネ 243
	デンマーク	12	千デンマーククロネ 417	—	千デンマーククロネ —
	香港	—	千香港ドル —	3,078	千香港ドル 1,420
	タイ	—	千タイバーツ —	5,448	千タイバーツ 1,594
	台湾	—	千新台湾ドル —	8	千新台湾ドル 489

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2023年6月20日～2024年6月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	728,748千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	530,697千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.37

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月20日～2024年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年6月20日～2024年6月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年6月17日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株		千株	千円
食料品 (2.4%)					
ユーグレナ		17.1		4.6	2,502
医薬品 (12.4%)					
ステラファーマ		26.5		32.5	12,837
機械 (4.5%)					
技研製作所		2.6		2.4	4,598
精密機器 (一%)					
ナカニシ		4.7		—	—
情報・通信業 (52.2%)					
VRAIN Solution		—		2.2	7,117
ソラコム		—		8.7	13,311
カウリス		—		2.9	5,634
Appier Group		7.9		7.3	9,256
IPS		5.6		4.3	9,404
グリッド		—		2.9	7,774
QPS研究所		—		0.6	1,398
不動産業 (12.6%)					
SREホールディングス		4.4		2.8	12,992
サービス業 (15.9%)					
アストロスケールホールディングス		—		13.9	14,289
ステムセル研究所		1.7		1.3	2,091
合 計	株 数	70	株 数	86	103,207
	銘柄 数 < 比 率 >	8		13	< 18.0% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額 千米ドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
ALIGHT INC - CLASS A	95	—	—	—	商業・専門サービス	
CLOUDFLARE INC - CLASS A	17	13	100	15,908	ソフトウェア・サービス	
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	13	6	99	15,673	消費者サービス	
ECOLAB INC	4	4	98	15,504	素材	
HUBSPOT INC	—	1	93	14,737	ソフトウェア・サービス	
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	1	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
IQVIA HOLDINGS INC	—	3	78	12,400	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
KADANT INC	—	3	84	13,295	資本財	
MP MATERIALS CORP	38	13	17	2,793	素材	
MSCI INC	1	1	87	13,852	金融サービス	
MASTEC INC	9	7	84	13,268	資本財	
STEM INC	44	44	4	770	資本財	
XYLEM INC	3	4	67	10,653	資本財	
ELASTIC NV	13	10	119	18,796	ソフトウェア・サービス	
ALARM.COM HOLDINGS INC	—	14	86	13,638	ソフトウェア・サービス	
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	10	9	153	24,179	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ANSYS INC	3	3	104	16,392	ソフトウェア・サービス	
ARROWHEAD PHARMACEUTICALS IN	27	35	91	14,466	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DATADOG INC - CLASS A	10	8	100	15,778	ソフトウェア・サービス	
ENTEGRIS INC	—	7	100	15,819	半導体・半導体製造装置	
EXACT SCIENCES CORP	8	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FOX FACTORY HOLDING CORP	8	18	87	13,818	自動車・自動車部品	
ILLUMINA INC	7	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INSULET CORP	8	8	161	25,450	ヘルスケア機器・サービス	
LANTHEUS HOLDINGS INC	—	11	92	14,608	ヘルスケア機器・サービス	
STEVEN MADDEN LTD	27	22	96	15,162	耐久消費財・アパレル	
ORIGIN MATERIALS INC	—	220	19	3,053	素材	
QUANTERIX CORP	75	69	92	14,614	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
REPLIGEN CORP	5	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
RXSIGHT INC	—	17	98	15,502	ヘルスケア機器・サービス	
SHOCKWAVE MEDICAL INC	4	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
TACTILE SYSTEMS TECHNOLOGY I	—	47	55	8,721	ヘルスケア機器・サービス	
TWIST BIOSCIENCE CORP	29	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VARONIS SYSTEMS INC	24	22	94	14,887	ソフトウェア・サービス	
VIRTRA INC	—	47	38	6,034	資本財	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	—	2	75	11,868	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株 数	金 額	492	678	2,486	391,654
	銘柄 数	< 比 率 >	25	29	—	< 68.3% >
(ユーロ…ドイツ)					千ユーロ	
RATIONAL AG	1	0.94	74	12,562	資本財	
ATOSS SOFTWARE SE	—	3	70	11,838	ソフトウェア・サービス	
COMPUGROUP MEDICAL SE & CO K	13	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株 数	金 額	15	3	144	24,401
	銘柄 数	< 比 率 >	2	2	—	< 4.3% >
(ユーロ…フランス)						
ELIS SA	—	32	66	11,170	商業・専門サービス	
小 計	株 数	金 額	—	32	66	11,170
	銘柄 数	< 比 率 >	—	1	—	< 1.9% >

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…オランダ) CORBION NV	百株 25	百株 —	千ユーロ —	千円 —	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	25 —	— —	— —	<—%>
(ユーロ…ルクセンブルク) BEFESA SA	10	—	—	—	商業・専門サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	10 —	— —	— —	<—%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	51 4	35 3	210 —	35,572 <6.2%>
(イギリス) GENUS PLC	—	26	千英ポンド 44	8,886	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ITM POWER PLC	159	159	7	1,583	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	159 1	185 2	52 —	10,469 <1.8%>
(デンマーク) NOVONESTIS (NOVOZYMES) B	—	12	千デンマーククローネ 488	11,048	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	12 1	488 —	11,048 <1.9%>
(香港) SHANDONG WEIGAO GP MEDICAL-H	477	—	千香港ドル —	—	ヘルスケア機器・サービス
XINYI GLASS HOLDINGS LTD	220	220	190	3,836	資本財
VINDA INTERNATIONAL HOLDINGS	185	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
CHOW TAI FOOK JEWELLERY GROU	220	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	121	121	250	5,049	運輸
TAM JAI INTERNATIONAL CO LTD	1,300	—	—	—	消費者サービス
EC HEALTHCARE	896	—	—	—	消費者サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,419 7	341 2	440 —	8,885 <1.5%>
(タイ) CHULARAT HOSPITAL PCL-F	5,448	—	千タイバート —	—	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,448 1	— —	— —	— <—%>
(台湾) MOMO.COM INC	8	—	千新台幣ドル —	—	一般消費財・サービス流通・小売り
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8 1	— —	— —	— <—%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,578 39	1,253 37	— —	457,631 <79.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2024年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	560,838	97.6
コール・ローン等、その他	13,715	2.4
投資信託財産総額	574,553	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(467,780千円)の投資信託財産総額(574,553千円)に対する比率は81.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=157.53円、1ユーロ=168.64円、1英ポンド=199.87円、1デンマーククローネ=22.60円、1香港ドル=20.16円。

○特定資産の価格等の調査

(2023年6月20日～2024年6月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	574,553,754
コール・ローン等	13,355,439
株式(評価額)	560,838,344
未収配当金	359,971
(B) 負債	701,500
未払解約金	701,500
(C) 純資産総額(A-B)	573,852,254
元本	352,793,557
次期繰越損益金	221,058,697
(D) 受益権総口数	352,793,557口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,266円

(注) 当ファンドの期首元本額は361,507,749円、期中追加設定元本額は3,713,135円、期中一部解約元本額は12,427,327円です。

(注) 2024年6月17日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・りそなグローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家専用) 328,442,222円
- ・グローバル中小型株式ファンド 24,351,335円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.6266円です。

○損益の状況 (2023年6月20日～2024年6月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,163,194
受取配当金	3,079,471
受取利息	91,506
支払利息	△ 7,783
(B) 有価証券売買損益	12,346,032
売買益	145,769,051
売買損	△133,423,019
(C) 保管費用等	△ 907,182
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,602,044
(E) 前期繰越損益金	211,256,061
(F) 追加信託差損益金	1,880,865
(G) 解約差損益金	△ 6,680,273
(H) 計(D+E+F+G)	221,058,697
次期繰越損益金(H)	221,058,697

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。